



# 小田小だより

平成31年1月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011  
<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/> 横浜市立小田小学校

## 子どもたちにとっての人権

校長 村上 裕江

「平成最後の〇〇」という言葉が多く聞かれる年の瀬となりました。12月に入ってからインフルエンザが流行し、保護者の皆様、地域の皆様には、ご心配をおかけしました。保護者の皆様には、お子様の健康観察や体調管理の面で、ご協力いただきありがとうございました。冬休みは、元気に過ごしてほしいと願っております。

さて、個人面談やアート展の鑑賞でご来校いただいたときにお気づきになったと思いますが、12月には教室の各クラス表示の下に「人権標語」が掲げられています。本校では、11月26日から12月10日までを「人権週間」として、学年に応じて人権意識を高めるために、毎年、「人権標語」を作っています。今年は、1948年12月10日の第3回国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されて70年。節目の年ということで法務省でも「世界人権宣言70周年」のパンフレットが作られたり、シンポジウムが開かれたりしました。

本校の「人権標語」を見ると、本校の子どもたちが、「人権」をどのように考えているかよく分かります。1年生と6年生の標語を比べると「人権」のとらえ方の成長も見て取れます。

1年生 「みんなに やさしくして みんなと なかよし」  
「みんながうれしいと じぶんも うれしい」  
「やさしい ことばを つかおうね」

6年生 『『どうしたの』 その一言で 救われる』  
「思いやり だれもが だれにも プラス思考  
未来へ一歩 踏みだしていく」  
「大切だ 一人一人のおもいやり  
君の一歩で 未来がかわる」

子どもたちは、「人権」という文言やカテゴリーでは意識をしていないかもしれませんが、しかし、友達に優しくすることや、友達を大切にすることが将来にわたって大事、ということは、感じ取っています。子どもたちが感じとっていることを、大人として実現できているかを自問しながら、「世界人権宣言」が生かされる社会をつくっていく責任を感じています。

平成30年も残りわずかです。新しい年が、喜び多い年となりますことを願って、年末のご挨拶と代えさせていただきます。今年1年ありがとうございました。良いお年を。